

2017-2018

Weekly Bulletin of KAKOGAWA CHUO R.C.

●R.I.会長/イアン・H.S.ライズリー ●地区ガバナー/瀧川 好庸
●会長/大西 淳滋郎 ●幹事/井上 孝明 ●クラブ会報委員長/宮本 鹿司夫
●事務局/〒675-0064 加古川市加古川町溝之口 800 番地 加古川商工会議所会 5F
TEL 079-421-5152 FAX 079-421-5559 E-mail info@kakogawa-chuo-rotary.club



ロータリー:
変化をもたらす

第 2098 号

平成 29 年 9 月 21 日 (木) No 10

卓 話 : 矢野 宗司会員

多木 有一会員

前川 忠範会員



★ 会長挨拶



★ 矢野 宗司会員



★ 多木 有一会員



★ 前川 忠範会員



★ 松尾 邦光会員



加古川 RC 沖野事務局員
退任お礼贈呈
ありがとうございました

会長の時間

会長 大西 淳滋郎

皆様、こんにちは。そろそろ秋本番と言うことで、本日は私の職業奉仕である日本の風習から『秋』についてお話し致します。

皆さん、秋はいつからとお考えでしょうか？今年、立秋が8月7日でした。その立秋も旧暦で見ると6月16日でまだ6月中旬です。旧暦では秋の始まりを7月1日としております。旧暦の7月1日は、新暦にすると今年8月22日になります。季節で言えば、秋めいてくる頃ですよ。旧暦で言えば、昨日9月20日が旧暦の8月1日です。昔は、八朔と呼ばれてお祝いをしておりました。

秋は3つに分かれています。初秋・仲秋・晩秋です。初秋が旧暦の7月・仲秋が旧暦の8月・晩秋が旧暦の9月を意味しております。そして、十五夜で有名な『中秋の名月』は『仲秋』か『中秋』のどちらですか？と言う質問を受けることが多々あります。人偏が着いた仲秋は、8月を意味しています。もしこの字を使って、『仲秋の名月』とするならば、8月の名月・8月に綺麗に見える月のことを意味します。

『十五夜』は秋の中心の満月（望月）を祝う儀式です。満月は豊作も意味しています。その為、秋のど真ん中（7月から8月の中心）は8月15日になります。秋の真ん中の名月で、『中』と書く『中秋の名月』が正解です。今年の『中秋の名月・十五夜』は、来月の10月4日にあたります。美しい月を眺めながら、素敵な夜を過ごしませんか。『十五夜』は、中国の唐から伝わってきた風習です。『中秋の名月』を鑑賞する他、これから始まる収穫期を前にして、収穫に感謝する感謝祭の意味もありました。9月頃に収穫される「里芋」をお供えすることから「芋名月」とも呼ばれています。現在では、満月のように丸い月見団子と魔除けの力があるとされたススキを供えるのが一般的な「十五夜スタイル」です。旧暦を使用していた時代は(1872年頃まで)、月の満ち欠けによって、おおよその月日を知り農業や漁業を行っていました。一説によると、欠けたところの無い満月は、五穀豊穡の象徴だったそうです。そのため十五夜の満月の夜は豊作を祈る祭の行われる大切な

節目でもあったようです。『十五夜』にちなみ、15 個の丸いだんごを飾ると縁起が良いとされています。また、里芋のような形であんこを付ける地域もあります。

これは芋名月の里芋に見立てており、あんこが月にかかった雲を表しているとも言われています。

一方の『十三夜』は、旧暦の9月13日に収穫をお祝いする収穫祭の意味も持っていました。(今年の『十三夜』は、11月1日になっております。) 満月・旧暦15日の前でまだ完全な満月でない月をお祝いするという日本発祥の風習です。満月(完全な物)の前の姿をお祝いするというのが何とも日本的で良いと思っております。

毎月1日・15日が巡ってきますが、新暦では海の様子や月の具合は分かりません。漁業では、新月・満月の前後の大潮は大切な目安になります。現在の暦では分かりにくいですが、旧暦では1日が新月・15日が満月です。漁業・農業にとっては分かりやすかった暦です。

8月1日を八朔と呼ぶと言いましたが、1日は朔の日と呼んでおりました、『朔』と言う字は、月偏に逆と書きます。『新月』(満月の逆の月)を意味しています。『満月』は別名『望月』と呼ばれています。秋・十五夜・十三夜のお話を致しました。

今週末週と2週にわたって、3名の会員様にお話し頂きます。

本日は地区の委員会組織並びに連絡事項をお願いしております。宜しくお願い致します。